

**令和3年度粟島浦村地域公共交通協議会による事業一次評価について（お知らせ）**

粟島浦村地域公共交通協議会（事務局：粟島浦村総合政策室内）は、粟島浦村、国、新潟県等の関係機関により構成され、地域公共交通の在り方を審議しています。

国が定めた地域公共交通確保維持改善事業実施要領により公表を求められている本協議会で実施した令和3年度の一次評価の概要は次のとおりです。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月5日

協議会名: 粟島浦村地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
粟島浦村	県道ルート	<ul style="list-style-type: none"> <li>頻繁に使用する停留所付近の風雨よけやその代替案等、引き続き利用しやすい環境づくりにむけ検討を行う。</li> <li>コロナ禍で村内行事の抑制状況が続いていたため、当初、外出意欲の向上を図ることが困難であったが、新潟県内の移動制限の緩和で来島者数も幾分増加傾向に転じたことによる刺激や村内行事の復活で、住民の利用実績増となった。</li> </ul>	A 気象の悪化により、運行ができない日があったが、それ以外は概ね計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 住民利用は2,597名(1名あたりの利用回数7.5回)となり、目標2,192名(一人当たりの利用回数6.3回)を達成することができた。これは当初、新型コロナウイルス感染症が村内の移動に不安をもたらせていたが、本感染症が小康状態に入り、外出意欲に拍車がかかったものと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き利用しやすい環境づくりのため、乗降場の在り方を検討する。</li> <li>村内の事業者とも連携し、外出意欲が高まるような事業を推進する。</li> </ul>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月 5日

協議会名: 粟島浦村地域公共交通協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
粟島汽船株式会社	粟島と本土(岩船)を結ぶ唯一の交通手段で、通院や買い物などで利用する島民のほか、公共工事関係者や観光客が主となり、利用者には欠かすことができない役割を担っている。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響長期化により、渡航の自粛が継続している中、運航ダイヤの変更による減便を実施したが、その一方、利用者の多い曜日を2便体制とし、少ない曜日を1便とし、利用客の利便性向上に努めた。	A 新型コロナウイルス感染症拡大対策に伴う減便運航により、計画通りの運航回数を実施できなかったが、必要最小限の運航を実施し、事業は適切に実施された。	C R3年度の目標に対する実績【旅客人数】 目標56,000人、実績24,018人(達成率42.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も安定的な運航を維持するため、船員の確保・育成に努める。</li> <li>利用者を増やすため島内のイベントを実施し利用促進に取り組む。</li> <li>観光客の誘致増加に向けて観光協会と連携し「あわしま自然体験」での学習を目的とした利用者の誘致や県の支援事業を活用し、学生対象のイベント等を企画し実施していく。</li> <li>一層の経費削減を行い、欠損額の抑制に努める。</li> </ul>